

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

児童デイサービスはっぴい

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		限られたスペースの中でどのような場所の使い方をするのかを職員間で話し合いながら定期的な模様替えなどを行って少しでもスペースの確保につなげている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			長期休暇時なども早番・中番を設けることで、利用人数に合わせた十分な職員配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		利用者に合わせて踏み台や小チェアなどを用いて対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員間で話し合い、個々に意見を出し合いながら目標設定や振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートを元に職員で話し合いを行い、今後の改善へと検討しあつた。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後選出する方向で検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内外で研修機会を設け、研修に参加できるように回覧などでも知らせている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートを使いながら計画書を作成している。今後のシートの見直しや更新も検討中。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	個々の適応行動の状況を把握した上で、個別療育や集団療育などを行っているが、標準化されたツールは使用していないので今後検討していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で毎月話し合っ決めていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			いろんな情報や意見も取り入れながら、新しい活動なども取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長時間ならでの活動や課題を設定するなどを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			来所してくる子どもの状況に合わせて計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日の夕方には次の日の活動の流れを話し合い、当日の朝から実際にどのような役割分担で動くのかを話し合っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には振り返りを行い、振り返りシートに記入することで次の支援へとつなげている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日その日中に記録をとることで、より正しい記録をとり、月末にまとめてすることで次の月の支援などにつなげている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年に2回(半年に1回)のペースでモニタリングを行い、利用者の状況に合わせて見直しなどを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			基本活動のA～Eまでを踏まえた上で活動を計画し、支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			適切な職員が行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		送迎時だけではなくなかなか連携が取れていない。ケース会議などには参加できているのでケース会議を通して情報共有などははかっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	今のところ対象児童はいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		児童発達支援事業所には訪問も行い、情報交換を求めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		直接ではないが、保護者を通じて支援内容や視覚支援などをどのように使うことのできるのかなどを伝えて、卒業後の就労先に支援を求めてもらえるようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修などには積極的に参加できるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	公共の公園を使ったり、外出先で挨拶をしたりはしているが、交流の機会は今のところない。今後検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加できるようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に伝えているが、伝えきれない面などはモニタリングなどで伝えている。また、保護者からも伝えていただいている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			子どもさんの特性を伝えた上で、ご家庭での支援の仕方や保護者としてできる支援の仕方などを伝えたり、やり方などを伝えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明するようにしている。また、契約時以外も保護者からの問い合わせがあるとその都度説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育ての悩みに対しても助言をしたり、相談に乗りながら支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者アンケートで必要性についてのニーズが少なかった。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情などがあった場合は迅速に対応し、報告書としてまとめるとともに保護者に周知できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月お便りを発行することで保護者への発信を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには十分に注意をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子ども達や保護者にはそれぞれに伝えやすい話し方や伝え方に気を付け、伝えながらも伝わったかどうかを確かめるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			夏祭りには近隣施設のスタッフや家族様を招待できた。今後少しずつ広げていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルはあり、職員で周知するようにしているが、保護者には伝えられていないので今後保護者にも伝えられるように工夫が必要。また、マニュアルの見直しなどもしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回は利用者を含めた避難訓練を行い、うち1回は消防署から消防士さんにも来てもらって総評をいただいている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の外部研修に積極的に参加し、職員間でも報告し合っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			車いすの利用者がいたら、車いすのベルトをどんな時に使用するのかなど保護者に説明した上で同意書ももらっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギー数値や指示書に合わせて対応し、おやつや活動も配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成することで職員間で閲覧したり、ファイリングすることでいつでも確認できるようにしている。